

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月23日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 8014 URL http://www.chori.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 修二  
 問合せ先責任者 (役職名) 人事総務部長 (氏名) 白神 聡 (TEL) 03-3665-2031  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	109,648	△1.1	2,796	△13.4	2,835	△14.1	1,887	△3.7
24年3月期第2四半期	110,901	4.7	3,230	28.6	3,301	28.8	1,960	△47.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,645百万円( 1.9%) 24年3月期第2四半期 1,616百万円(△50.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 75.31	円 銭 —
24年3月期第2四半期	82.24	77.92

※平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第2四半期	百万円 66,614	百万円 29,580	% 44.3
24年3月期	67,465	28,698	42.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 29,486百万円 24年3月期 28,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.90	円 銭 2.90
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※1. 平成24年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、25年3月期(予想)の配当金予想は、当該株式併合の影響を考慮しております。

※2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	5.6	6,300	6.5	6,300	3.0	4,000	14.4	158.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成24年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、平成25年3月期通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	25,303,478株	24年3月期	25,020,459株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	34,891株	24年3月期	33,651株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	25,067,089株	24年3月期2Q	23,836,746株

※平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、平成25年3月期の配当及び通期の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮して算出した予想値であります。

なお、株式併合の詳細につきましては、平成24年4月23日に開示いたしました「株式併合および単元株式数の変更の方針に関するお知らせ」及び「配当方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期 第四回優先株式	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 11.10	円 銭 11.10
25年3月期 第四回優先株式	—	—			

(注) 第四回優先株式は平成24年8月1日をもって普通株式へ全株転換し、平成24年8月14日付にて全株消却したことから、25年3月期(予想)における1株当たり配当金の内訳は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 追加情報 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかに内需が持ち直しているものの、景気の先行きについては、欧州の政府債務危機などの不確実性が依然として高いことに加え、中国や新興国経済の足踏み等からくる世界景気の下振れリスク、円高の定着、デフレの影響等により、不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.1%減の1,096億48百万円となりました。利益面につきましても、営業利益は、前年同期比13.4%減の27億96百万円、経常利益は、前年同期比14.1%減の28億35百万円、四半期純利益は、前年同期比3.7%減の18億87百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

当セグメントにおきましては、国内消費市場の停滞等により、売上高は前年同期比1.0%減の530億10百万円となり、セグメント利益(営業利益)は前年同期比11.8%減の15億50百万円となりました。

② 化学品事業

当セグメントにおきましては、電材業界の不振、ならびに中国における需要低迷等により、売上高は前年同期比1.1%減の323億22百万円となり、セグメント利益(営業利益)は前年同期比14.6%減の10億79百万円となりました。

③ 機械事業

当セグメントにおきましては、中南米向け中国事業は順調に推移しているものの、他の事業の減速により、売上高は前年同期比1.0%減の240億36百万円となり、セグメント利益(営業利益)は前年同期比16.9%減の1億38百万円となりました。

④ その他

当セグメントにおきましては、前期末に連結子会社の1社を解散したこと等により、売上高は前年同期比34.5%減の2億79百万円となり、セグメント利益(営業利益)は前年同期比31.7%減の28百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、666億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億51百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が17億71百万円減少、現金及び預金が8億58百万円減少、関係会社預け金が20億円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、370億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億32百万円減少しました。これは主に流動負債のその他に含まれる前受金が15億64百万円減少、未払法人税等が11億円減少、支払手形及び買掛金が10億64百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、295億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億82百万円増加しました。これは主に四半期純利益の計上により18億87百万円増加、配当の支払により7億31百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末比11億33百万円増の81億35百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は21億78百万円(前年同期は資金の減少16億47百万円)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益28億1百万円、売上債権の減少額18億39百万円、仕入債務の増加額10億38百万円です。支出の主な内訳は、その他の負債の減少額21億88百万円、法人税等の支払額19億69百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は5億89百万円(前年同期は資金の減少7億74百万円)となりました。主に関係会社出資金の払込による支出3億47百万円、投資有価証券の取得による支出1億53百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は4億58百万円(前年同期は資金の減少1億82百万円)となりました。主に配当金の支払額7億21百万円、短期借入金の純増加額2億66百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の先行きは、依然として不透明であり、当社及びグループ企業を取り巻く事業環境も引続き厳しい状況であることが予想されますが、現時点では第四回優先株式の転換により普通株式数が増加したことによる「1株当たり当期純利益」の変更を除き、平成24年4月23日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,110	5,252
関係会社預け金	1,000	3,000
受取手形及び売掛金	39,058	37,287
商品及び製品	9,993	10,231
仕掛品	74	51
原材料及び貯蔵品	53	34
未着商品	212	112
繰延税金資産	419	403
その他	3,157	2,818
貸倒引当金	△45	△45
流動資産合計	60,034	59,146
固定資産		
有形固定資産	545	513
無形固定資産	67	62
投資その他の資産	6,817	6,891
固定資産合計	7,430	7,468
資産合計	67,465	66,614
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,485	29,549
短期借入金	460	729
未払法人税等	2,068	968
賞与引当金	571	615
返品調整引当金	2	2
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	5,530	3,459
流動負債合計	37,160	35,366
固定負債		
繰延税金負債	5	4
退職給付引当金	1,266	1,363
役員退職慰労引当金	161	—
負ののれん	173	141
その他	—	157
固定負債合計	1,605	1,667
負債合計	38,766	37,034

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	22,355	23,506
自己株式	△44	△46
株主資本合計	30,811	31,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△262	△530
繰延ヘッジ損益	67	△4
為替換算調整勘定	△2,037	△1,939
その他の包括利益累計額合計	△2,233	△2,474
少数株主持分	120	94
純資産合計	28,698	29,580
負債純資産合計	67,465	66,614



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	110,901	109,648
売上原価	100,779	99,726
売上総利益	10,122	9,922
販売費及び一般管理費	6,892	7,125
営業利益	3,230	2,796
営業外収益		
受取利息	42	30
受取配当金	80	106
持分法による投資利益	6	17
負ののれん償却額	31	31
債務勘定整理益	63	50
雑収入	102	83
営業外収益合計	327	319
営業外費用		
支払利息	61	67
手形売却損	53	49
為替差損	62	56
雑支出	78	108
営業外費用合計	255	281
経常利益	3,301	2,835
特別利益		
投資有価証券売却益	4	3
負ののれん発生益	1	—
特別利益合計	6	3
特別損失		
関係会社株式売却損	—	22
投資有価証券売却損	—	8
固定資産処分損	2	5
ゴルフ会員権評価損	18	—
投資有価証券評価損	3	—
その他	4	—
特別損失合計	28	36
税金等調整前四半期純利益	3,279	2,801
法人税、住民税及び事業税	893	926
法人税等調整額	420	△9
法人税等合計	1,314	916
少数株主損益調整前四半期純利益	1,964	1,885
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△2
四半期純利益	1,960	1,887

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,964	1,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219	△267
繰延ヘッジ損益	△154	△71
為替換算調整勘定	9	79
持分法適用会社に対する持分相当額	16	19
その他の包括利益合計	△348	△240
四半期包括利益	1,616	1,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,611	1,647
少数株主に係る四半期包括利益	5	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,279	2,801
減価償却費	91	86
負ののれん償却額	△31	△31
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1	97
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△29
受取利息及び受取配当金	△123	△137
支払利息	61	67
為替差損益(△は益)	△3	△1
持分法による投資損益(△は益)	△6	△17
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	5
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	22
売上債権の増減額(△は増加)	964	1,839
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,150	△80
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,956	1,038
未収消費税等の増減額(△は増加)	211	165
その他の資産の増減額(△は増加)	△117	463
その他の負債の増減額(△は減少)	△233	△2,188
その他	162	△10
小計	△1,860	4,090
利息及び配当金の受取額	136	125
利息の支払額	△61	△67
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	137	△1,969
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,647	2,178
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△79	△43
有形固定資産の売却による収入	0	11
無形固定資産の取得による支出	△5	△11
投資有価証券の取得による支出	△28	△153
投資有価証券の売却による収入	—	13
関係会社株式の取得による支出	—	△66
出資金の払込による支出	△527	—
関係会社出資金の払込による支出	△72	△347
貸付けによる支出	△15	△20
貸付金の回収による収入	9	35
その他	△54	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△774	△589

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	323	266
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△503	△721
その他	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182	△458
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,601	1,133
現金及び現金同等物の期首残高	8,837	7,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,236	8,135

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,520	32,673	24,281	110,475	426	110,901	—	110,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	263	263	△263	—
計	53,520	32,673	24,281	110,475	690	111,165	△263	110,901
セグメント利益	1,758	1,264	166	3,188	41	3,230	—	3,230

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器、不動産の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,010	32,322	24,036	109,369	279	109,648	—	109,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	248	248	△248	—
計	53,010	32,322	24,036	109,369	527	109,897	△248	109,648
セグメント利益	1,550	1,079	138	2,767	28	2,796	—	2,796

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(7) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員への退職慰労金の支払いに備えるため、役員に対する退職慰労金の支給見積額のうち期末要支給額を「役員退職慰労引当金」として計上していましたが、役員退職慰労金制度の廃止に伴い、平成24年6月13日開催の第65回定時株主総会において、役員退職慰労金を打ち切り支給することが決議されました。これにより、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給額未払分157百万円については固定負債「その他」に計上しています。